

08.07.2013

日本友の会発足3周年懇談会

7月2日（火），小泉大使は，ブルガリアの日本関連団体の傘機関であり、当地における日本文化月間の共催団体である「日本友の会」発足3周年を機に、同会のこれまでの活動や今後の方針につき共有し、また、今後の二国間交流のあり方等につき意見交換を行うことを目的とした懇談会を開催し、50名程の会員が出席しました。

小泉大使は，冒頭挨拶の中で、これまでの「日本友の会」の活動や当館への支援に対し謝意を表するとともに、日本文化月間の開催をはじめとする様々な事業において協力関係を更に深化させたいと期待を表明しました。バシカロフ会長とジェコフ事務局長は、1年間の活動の総括を行った後、第24回日本文化月間の共催機関を務めることや、日ブルガリア外交関係再開55周年を迎える2014年に、市内サウスパークの一角に55本の桜を植樹し、二国間友好関係の新たな象徴とすること等を提案し、全会一致で承認されました。

また，同懇談会では，日本友の会からの依頼を受け、小泉大使が「安倍政権の基本政策と今後の展望」につき30分程度の講演を行い、経済の再生、外交安全保障の再生、教育の再生に焦点を当て、現政権の政策や今後の方針につき紹介しました。